

朝日大学病院を受診された患者さまへ

研究情報の公開について（オプトアウト）

通常、臨床研究を実施する際には、文書もしくは口頭で説明し同意をいただきます。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いるものは、国の定めにより、対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得る必要はなく、研究の目的や方法などの情報を公開のうえ、拒否の機会を保障しなければならないものとされております。このような手法を「オプトアウト」といいます。当院では、このオプトアウトを用いた研究を下記のとおり行います。研究への協力を希望されない場合は、下記に記載の担当者までお知らせください。

研 究 課 題 名	Wet でリアルな舌がん模型開発
当院の研究責任者 (所 属)	歯科口腔外科 講師 長縄 鋼亮
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本 研 究 の 目 的	将来の歯科医師を養成する大学機関の歯学部では、現在、学生に向けた様々な実習を行っていますが、実際の手術や診療を自ら体験することは免許を持たない学生には難しい面があります。そこで近年では免許取得後に現場で活躍できる歯科医師養成を目指し、デジタル技術や3Dモデルを活用した多様な実習が考案されています。本研究は、歯科医師の卵である歯学部生に向けた実習用舌がん模型の開発です。
調査データ該当期間	2024年2月1日～2024年3月31日
研究の方法（使用する 資料等）	舌扁平上皮癌と診断され、全身麻酔下で手術が行われた患者様の組織（検体）の性状（触感や硬さ）を計測します。なお、使用する検体は手術によって患者様の身体から切り離された後、最終的な診断を行うために病理診断が行われますが、その作業の前に硬度測定器を当て病変の硬さを数値化したものを測定します。測定は対象となる部位に硬度測定器のセンサーを接触させることで硬度を数値化する方法を取るため、手術検体自体を傷つけることはなく後の病理診断業務の妨げとなることはありません。手術後、速やかに測定を行い、測定終了後はホルマリン固定を行い病理診断業務に移行します。
試料/情報の他の機関 への提供	あり（本研究はウェトラブ (WetLab) 株式会社との共同開発計画の一部であり、研究で得られたデータはウェトラブ株式会社と共有致します。本研究で得られた情報をもとに歯学部生に向けた実習用舌がんモデルを開発する予定です。）
個 人 情 報 の 取 扱 い	完全に匿名化し外部と途絶したPCにて保管します。 研究結果の公表においても個人が特定されることはありません。 また研究以外での目的で情報を使用することはありません。
本研究の資金源（利益 相反）	朝日大学研究費およびWetLab株式会社からの出資によって実施します。

お問い合わせ先	研究代表者 歯科口腔外科 講師 長縄綱亮 (TEL : 058-253-8001 (代表))
備考	本研究は朝日大学歯科口腔病理学分野およびWetLab株式会社との共同研究で行われます。

